

国立国語研究所学術情報リポジトリ

<講演2>日本語と韓国語、どこが似ている、どこが違う

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金, 延珉 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000909

日本語と韓国語、どこが似ている、どこが違う

金 廷珉 (慶一大学 助教授)

講演
2

キム ジョンミン

慶一大学 (大韓民国) 助教授 (当時)。専門は、韓国語と日本語の対照研究。著書に「言語・脳・認知の科学と外国語習得」(共著、ひつじ書房、2009年)など。



皆さん、こんにちは。わたしはちょうど1年前まで日本で韓国語を教えていましたが、現在は韓国の大学で日本語を教えています。今日は人魚構文の話を中心に、韓国語が日本語とどのように違うかという点についてお話をしたいと思います。

◆日本語と韓国語の一般的な類似点と相違点

1. 韓国語の簡単な紹介: ハングルの起源、文字の作り (子音、母音)、発音体系

韓国語は、皆さんもご存じかもしれませんが、日本語と非常に似ている言語です。言語の名称としては、日本では「ハングル語」という呼び名を耳にすることがあります。ハングルは日本語の平仮名と片仮名に相当する文字のことで、言語の名称は「韓国語」です。ハングルという文字は、韓流ドラマの時代背景にもなっている朝鮮王朝時代の4代目の王様が、誰にでも分かるような文字を作ろうということで作りました。当時は中国語から入ってきた漢字を使っていましたので、文字が読めない人がたくさんいました。そこで、誰にでも分かるような文字を作るということで作られたのがハングルです。現在は韓国と北朝鮮、旧ソ連などで使われており、約7800万人が使用しているといわれています。

文字の体系としては、基本的に子音字母と母音字母の組み合わせで1文字を構成します。子音は全部で19個あります。母音は日本語より数が多く、基本母音と複合母音を合わせて、21個あります。

2. 両言語の類似点

一般的な類似点を幾つか挙げたいと思います。まず、語順がほぼ同じです。単語の語彙の種類として、日本または中国語から入ってきた漢字語、日本語でいえば和語に当たる固有語、それから、主に欧米から取り入れた外来語があります。他にも、日本語の「～れる、～られる」に相当する受け身形や、「～せる、～させる」に相当する使役形、過去形などもあります。

次に敬語についてです。儒教の影響もあり、韓国語は敬語が非常に発達しています。例えば日本語の場合ですと、尊敬の「～れる、～られる」や、「見る」に対する「ご覧になる」、「食べる」に対する「召し上がる」などの尊敬語があります。また、韓国語は尊敬を表す、「-(으)시-/-(u)si-」という先語末語尾があります。例えば「行く」という意味の動詞ka-taは、kaとtaの間に-si-を入れると「行く」に対して、「いらっしゃる」というような尊敬語になります。

3. 両言語の相違点

このように敬語が発達しているという点で、日本語と韓国語は共通していますが、尊敬語の使われる範囲に違いがあります。例えば会社の上司あてに取引先から電話が来たとき、日本語では相手に「田中部長は今、席を外しております」という謙讓語を使います。一方、韓国語では年齢や肩書きなどが優先されますので、社長は自分より肩書きが

上の場合、取引先の相手に対しても「金社長様は今、席にいらしゃいません」という尊敬語を使うということがあります。これが日本語と典型的に違うところです。

先ほど「-(으)시- /-(u)si-」が敬語を表す先語末語尾と言いましたが、最近、昔は無かった用いられ方が見られます。例えば先生に先輩のことを話す際にも、過剰に敬語を使用する現象が最近見られます。他にも私にとっては違和感がある敬語の使い方があります。例えば、私がデパートに行って服を選んでいる時に、店員に「これ、赤い色もありますか」と聞きます。そうすると店員は赤色の服がないことを話す場面で、「없습니다 /eps-supni-ta(ありません)」のように丁寧語を使うだけで十分なところに、「없다/eps-ta(ない)」に、先ほど言った尊敬の接辞「-시-/-si-」を使って「없으세요/eps-useyo(おありではございません)」という言い方をします。しかし、「-(으)시- /-(u)si-」はもともと尊敬の対象が「人」の場合に使用可能な接辞ですので、「もの」である「服」には使えないのですが、最近このような敬語の過剰使用という現象が韓国語で見られています。

ここまでが、韓国語と日本語の一般的な類似点と相違点の話でした。

◆人魚構文に関する日韓対照分析

1. 人魚構文(体言締め文)の定義:[節]+[体言]+[コピュラ]の構造を持つ文

次に、人魚構文に関する話をしたいと思います。先ほど角田先生の説明にもあったように、前半部に動詞述語文が来て、次に「予定」のような名詞が来ます。そして「だ」や「です」のコピュラを持つ構造を人魚構文と言います。このような構文が韓国語にあるかという、存在します。非常にたくさんあります。

この人魚構文は、大きく三つのタイプに分けるこ

とができます。そのまえに、ここで覚えておいていただきたいのは、「太郎は明日大阪に行く」という終止形と、「行く予定」の連体形が日本語では同じ形ですが、韓国語の場合は文末の最後に来る終止形と、名詞を修飾する動詞の形(連体形)が形態的に違うということです。それが後の話にもずっと関係してきます。

2. 韓国語の人魚構文のタイプ

先ほど三つのタイプに分けることができると言いました。まず一つ目のタイプは、節のタイプで動詞の連体形が用いられる場合です。これが人魚構文の典型例で、連体形の後ろに体言、そしてコピュラが続きます。

二つ目のタイプは、動詞を連体形ではなく、名詞形にする方法です。名詞形にする接辞には「-기(-ki)や(-로)음/-(u)m」があります。その他の点は一つ目のタイプと同じです。

三つ目のタイプは、連体形が用いられはしますが、一つ目のタイプとは異なり、最後がコピュラではなく、補助動詞という別の動詞、つまり、コピュラ以外の動詞が来る形です。

このように三つのタイプがありますが、例を集めてみると膨大なので、今日は典型的なタイプということで、タイプ1に絞って調査結果をお話したいと思

韓国語の人魚構文の3つのタイプ

タイプ1: [節(連体形)]+[体言]+[コピュラ]

タイプ2: [節(名詞形)]+[コピュラ]

タイプ3: [節(連体形)]+[体言]+[補助動詞]

※[体言]の位置に現れる名詞の種類と意味は以下の3つに分類できる。

- (I) 普通(一般)名詞
- (II) 形式名詞 1
- (III) 形式名詞 2

韓国語の人魚構文3つタイプ

ます。「太郎は明日大阪に行く予定だ」が、タイプ1に当たる例文です。動詞が連体形で、後にコンピュータが来るタイプです。

3.分析方法

私は日本語を基準にして韓国語を対照しました。その基準になったのが角田先生のご研究です。日本語との対照に当たって、まず前半部の連体節、連体形が修飾する体言(名詞)、そしてコンピュータの三つに分けます。そして最初に連体形が修飾する名詞の種類とその意味を調べました。次に、前半部の連体節の中の形態的な特徴、3つ目にコンピュータの特徴を調べました。最後に、日本語では「奇妙な文」とありましたが、韓国語においてこのような人魚構文がどのように位置づけられているか、韓国国内の先行研究では、このことについては論じられていません。そこで、統語的な比較を人魚構文以外の構文と行いました。

それでは、順番に調査結果をお話します。体言の位置に現れる名詞は非常にたくさんあります。そこで、いくつかのタイプに分けてみました。(I)は普通名詞、つまり一般の名詞です。(II)と(III)は、いわゆる言語学で言うところの、文法化した名詞のことです。これらの名詞は本来の意味を失った名詞で、韓国語では形式名詞や依存名詞などと呼ばれています。文法化した名詞は更にタイプ(II)と(III)に分けました。(II)と(III)は、(III)の方がより文法化が進んだ名詞ということです。

①【体言】の位置に現れる名詞の種類と意味は

次に、普通名詞に関して日本語と韓国語の対照を行って

みました。まず、角田先生による日本語の名詞の意味分類に項目の一つを追加し、全部で12個に分類しました(表1参照)。「意志」類、「感情」類、「習慣」類など、たくさん名詞がありますが、日本語に使われている名詞が韓国語においても使えるかどうかを、私の内省や、インターネットなどで検索して、例文があるかどうか調べました。

その結果、ほとんど全てが使えるようです。ただし、一部の名詞、「決心」や、「習わし」などの「習慣」類、「疑い」類に相当する名詞の場合は、少し不自然なものがありました。

次に例文を見てみますと、例えば「感情」類に相当する「気持ち」「気分」です。次に、日本語の「雰囲気」は韓国語では「분위기/punwiki」です。それから、「私はすぐ飽きる性格だ」の「성격/sengkyek、性格」という名詞です。

対応はしていても、名詞を一個一個見てみると少しばらつきがあるものがありました。それが1、2、3、6、8、12類に属する名詞です。例えば「意志」類に相当する名詞として「意向」「覚悟」「方針」「考え」などがあります。これらは使うことはできますが、「決意」や「決心」の場合は少し使いにくいです。インターネットなどを検索しても例が出てきません。そ

[1]	「意志」類	意向, 所存, 気, 気持ち, 考え, 決心, 決意, 姿勢, 覚悟, 方針 など
[2]	「段取り、見込み」類	段取り, 運び, 方向, 見通し, 見込みなど
[3]	「状況、結果」類	様子, 気配, 模様, 状態, 状況, 形 など
[4]	「感情」類	感じ, 気, 気持ち, 気分, 思い, 心境など
[5]	「印象、雰囲気」類	印象, 感じ, 赴き, 雰囲気, 感触 など
[6]	「習慣」類	傾向, 風潮, 習わし, 風習, 習慣, 生活など
[7]	「人間の性格」類	性格, 性質, 気質, たち, タイプなど
[8]	「役目」類	役目, 役割, 責任, 立場, 資格, 運命 など
[9]	「体の特徴」類	体, 体つき, 体質, 表情, 口ぶり, 姿勢など
[10]	「無生物の構成」類	仕組み, 構造, 内容, スタイルなど
[11]	「時間」類	時間, 支店, 途中, 直後など
[12]	「疑い」類	疑い

表1 名詞の意味の12の分類

(1) 나는 그와 싸울 **각오**/***결심**/***결의** 이다.

Na=nun ku=wa ssawu-l **kako**/* **kyelsim**/* **kyeluy** =(i)-ta.

私=は 彼=と 戦う-連体形 覚悟 決心 決意= コピュラ-終結語尾
「私は彼と戦う**覚悟/決心/決意**だ。」

(2) 아기는 우는 **모양**이다.

Aki=nun wu-nun **moyang**=i-ta.

子供=は 泣く-連体形 模様=コピュラ-終結語尾
「子供は泣いている**模様**だ。(ようだ)」

例文(1)、(2)

それが例文(1)です。「覚悟」は使えますが、「決心」や「決意」は使いにくいです。

次に、「習慣、習わし、慣習」は、韓国語では少し使うのが難しい気がします。「習慣です」や「習わしです」という表現よりは、「習慣、慣習があります」といったような表現の方が自然です。それから役目の場合も、「役割」や「立場」は使えますが、「責任」や「資格」は使えないことが分かります。

「疑い」類に属する名詞として「嫌疑」や「疑惑」があります。「嫌疑」は使えますが、「疑惑」は韓国語では不自然です。ここまでが普通名詞に関する日韓の比較です。

次は形式名詞です。これは単純に日本語と比べることはできません。韓国語には、形式名詞の数が100個以上と非常に多く、種類が豊富です。しかし、それが人魚構文の中で使われた場合は、アスペクト的な意味を表したり、進行などを表すアスペクト的な意味、モーダルな意味を表す点で日本語と共通していることが分かりました。ここでは、普通の生活でよく使われる、比較的生産性が高い依存名詞を八つぐらい取り上げたいと思います(表2参照)。

例えば元の意味には「模様、法、道、数え、計算、幅、板、方、土・場所」があります。MMCは人魚構文のことで、マーメイド・コンストラクションの略

です。人魚構文の中で使われた場合は、証拠性やモーダル、アスペクトなどの意味を表すことが分かります。例文(2)をご覧ください。「子どもが泣いている模様だ(ようだ)」という例文です。また、「법/pep(法)」は人魚構文の中で使われると、日本語の「～するものだ」と道徳的な「助言」や「真理」などの意味として使われます。それ

れから「길/kil(道)」は、「私は今銀行に行くところだ」のような、日本語で言うところの「～するところだ」の意味として使われます。

次はもう一方の形式名詞、タイプ(Ⅲ)です(表3参照)。ここでは5つの依存名詞を選びました。まず、日本語の「こと」「の」に相当する「것/kes」です。次に、前に言ったことや文脈全体を受けたり、「～次第です」という意味の「마/pa」です。あとは「役割」や「時間」「～している最中」に当たる「지경/cikyeng、노릇/nolus、참/cham、차/cha、중/cwung」があり、これも同じくモーダルな意味を表したり、アスペクト的な意味を表したりしている点では日本語と共通しています。

例えば「마/pa」の例をみてみましょう(例文(3)参照)。日本語に直訳すると、「これで私の挨拶に代わる次第です(ことです)」という例です。おそらく

名詞	もとの意味	MMC内の意味
[1] <i>moyang</i>	모양 模様	evidential : 様子
[2] <i>pep</i>	법 法	modal : 義務、不変の真理
[3] <i>kil</i>	길 道	aspectual : 進行
[4] <i>seym</i>	셈 数え	modal : 意図、予定
[5] <i>phok</i>	폭 幅	aspectual / temporal : 否定的な状況
[6] <i>phan</i>	판 板	evidential : 状態
[7] <i>phyen</i>	편 便(方)	aspectual : 習慣、傾向
[8] <i>the</i>	터 土、場所	aspectual : 進行 modal : 義務、推測

表2 形式名詞1の種類と意味分類

名詞	もとの意味	MMC内の意味
[1] <i>kes</i>	것 こと・の	様々なモーダルな意味 (説明、義務、強い意志など)
[2] <i>pa</i>	바 こと・次第	~次第です。
[3] <i>cikyeng, nolus</i>	지경 地境・局面 노릇 役割	(否定的な)状況、状態
[4] <i>cham, cha</i>	참, 차 時間	aspectual : ところ
[5] <i>cwung</i>	중 ~中	aspectual : ところ、進行

表3 形式名詞2の種類と意味分類

(3) 이것으로 인사를 대신하는 **바**입니다.

ikes=ulo insa=lul taysinha-nun pa=i-pni-ta.
 これ=で 挨拶=を 代わる-連体形 こと=コピュラ-丁寧-終結語尾
 (直訳)「これで(私は)挨拶に代わる**次第**です。」
 ⇒ 「これで挨拶とさせていただきます。」

例文(3)

日本語では「これで挨拶とさせていただきます」に相当すると思います。

それから、「지경/*cikyeng*(地境)」は、「状況」や「局面」という意味です。自然な日本語訳にすると、「私はこのごろ疲れて死にそうだ」、「~しそうだ、~するような状況だ」になると思います。ここまですが名詞に関する話です。

② 節内の形態的特徴は

今度は、節の中の形態的特徴です。先ほど、必ず連体形が来なければいけないという話をしました。連体形は、韓国語では非常に複雑な体系を持っています。日本語の方を先に見てみますと、例えば日本語では、動詞や形容詞の場合、終止形と連体形は同じ形で、ナ形容詞やコピュラの場合は終止形が「-da」、連体形が「-na」という違いがあるだけです。しかし、韓国語の場合、どんな用言でも終止形と連体形の形が違います。更に、連体形は過去形、非過去形、現在か過去完了

か、過去を回想しているのか、まだ実現していないことについて述べているのか、など、細かく分かれています。ですから、これが日本語と韓国語を比べる上で非常に重要なポイントであると言えます。韓国語では、連体形の形がこのように細かく使い分けられていて、更にこの連体形の種類と、連体形の後ろに来る名詞との共起に制約が見られ、共起関係、結合関係によって、文の全体の意味が変わります。

表4は連体形の種類と、形式名詞1の共起関係を示したものです。「+」は結合可能なもの、「-」

はできないもの、「?」は微妙なものです。例えば「模様」と言った場合はほとんどの連体形も現れることができます。「법/*pep*(法)」は現在の連体形「-는/-nun」だけが共起します。全体を見てみても一般的な規則は言えないのですが、一つ言えるのは「-는/-nun」は全て共起可能ですが、あとは結合関係にばらつきが見られます。

次は形式名詞2の方も、また結果がそれぞれ異

	NPST -nun	PST -n	RETRO -ten	PRETRO -ss ten	PROS -(u)l	PPROS -ss ul
[1] <i>moyang</i> ‘模様’	+	+	+	+	+	-
[2] <i>pep</i> ‘法’	+	-	-	-	-	-
[3] <i>kil</i> ‘道’	+	-	+	-	-	-
[4] <i>seym</i> ‘数え’	+	+	+	+	+	?
[5] <i>phok</i> ‘幅’	+	+	-	-	-	-
[6] <i>phan</i> ‘板’	+	+	-	-	+	-
[7] <i>phyen</i> ‘便’	+	+	+	+	-	-
[8] <i>the</i> ‘土地、場’	+	+	+	+	+	+

表4 形式名詞1と連体形の種類

	NPST -nun	PST -n	RETRO -ten	PRETRO -ss ten	PROS -(u)l	PPROS -ss ul
[1] <i>kes</i> 'もの・こと'	+	+	+	+	+	+
[2] <i>pa</i> 'こと・次第'	+	-	?	?	-	-
[3] <i>cikyeng, nolus</i> '局面、役割'	+	+	?	?	+	+
[4] <i>cham, cha</i> '時、瞬間'	+	+	+	+	+	-
[5] <i>cwung</i> '中'	+	-	+	-	+	-

表5 形式名詞2と連体形の種類

なりますので、一般化することはできませんが、現在連体形の「-는/-nun」とはすべて結合可能です(表5参照)。

先ほど言いましたように、共起関係によって意味が変わることがあります。例えば例文(4)と(5)をご覧ください。「셈/seym(数え)」という名詞は「세다/sey-ta数える」という動詞から出来た派生名詞です。「셈/seym(数え)」は、未実現の連体形と結合して「-을 셈이다/ -(u)l seym=i-ta」という形になると、強い意志を表します。例えば日本語の「何とかする」「絶対～する」「～するつもりだ」のような意味です。「셈/seym(数え)」が既実現である現在の連体形、または過去の連体形と結合した場合は、「～したわけだ」のような判断を表したり、「～に等しい」など、類似した状況を表します。

形式名詞2の「こと、の」に相当する「것/kes」

(4) 우리는 이번 시험에서는 우승 **할 셈이다**.

Wuli=nun ipen sihap=eysel=nun wusungha-l seym=i-ta.
私たちはは 今回 試合=で=は 優勝する-連体形 数え=コピュラ-終結語尾
「私たちは今度優勝する**つもりだ**。」

(5) 시어머니께서 나를 살리**신 셈이다**.

Siemeni=kkeyse na=lul salli-si-n seym=i-ta.
義理の母=が 私=を 救う-尊敬-過去連体形 数え=コピュラ-終結語尾
「義理のお母さんが私を救った**ことに等しい**。／救った**わけだ**。」

例文(4)、(5)

も同様に、未実現の「-을 것이다/ -(u)l kes=i-ta」という形だと、自分の意志や、第三者に対する推測を表します。「～するだろう」「～するつもりだ」のような意味です。一方で、これも「-는/ -nun」や「-ㄴ/ -n」という現在または過去の連体形と結合した場合は、いわゆる「のだ文」の意味を持ち、前の文脈に対する説明や判断などを表します。未実現の連体形の場合は意志を表します。一方で、過去の連体形と結合した場合は「～したわけだ」「～したことに等しい」という意味になります。

日本語にもこのような現象はあります。例えば「つもり」です。「太郎は明日東京へ行くつもりだ」のように「つもり」が非過去形の連体形と結合した場合は、これから起こる計画や予定、意志などを表します。しかし、「花子は一生懸命努力したつもりだ」のように過去形と結合した場合は、自分の行動に対する評価を表します。日本語にもこのような現象はありますが、韓国語の方が多いような気がします。

③ コピュラは活用するのか

次はコピュラです。日本語の「だ」に相当するのが「이다/i-ta」です。「이다/i-ta」は活用します。過去形もありますし、否定形もあります。省略も可能です。活用形はスピーチレベルによって、非過去形か、過去形かによって変わります(例文(4)(5)参照)。

次はコピュラの有無ですが、コピュラがない場合、日本語ではコピュラがない方、つまり名詞で終わっている場合は、より聞き手目当ての意味を表すという指摘がなされています。しかし韓国語では、「こと」「の」に相当する「것/kes」以外は、コピュラの有無がそれほど関係していないようです。例

えば日本語の「のだ」「ものだ」のように、「だ」が付いている場合と、「だ」が付いていない場合とでは意味が変わってきます。「だ」がない方が、普通に説明や主張を表すだけではなくて、談話にプラスアルファ的な意味があることが先行研究で指摘されています。例えば「学位を取ることだ」。「だ」が付いている場合と「学位を取ること」を比べてみると、後者には相手への何らかの命令や指示を表す意味が必ず含まれます。

韓国語の場合、例えば「터/the」はもともと「土、地面」という意味の依存名詞ですが、コンピュータがない場合とある場合で、それほど意味的な違いはなく、どちらも「～する予定だ、つもりだ」という意志を表します(例文(6)参照)。ただし、「kes」の場合は付いているのと付いていないのとで意味が変わります。付いていない場合は、必ず相手への命令や指示を表します。一方で、コンピュータが付いている場合は、これからの自分の意志を表します(例文(7)、(8)参照)。

④ 人魚構文と他構文との比較

最後に、人魚構文と他構文との違いです。従来の韓国における先行研究において、人魚構文は、「学生です」などの名詞文の一種類や下位分類

として扱われており、ほかの構文との比較はほとんどされていません。そこで今回、(1) 指示詞による修飾可能性、(2) 形容詞による修飾可能性、(3) 「이/i、가/ka(が)」、「의/uy(の)」の交替、(4) 主題化、(5) 分裂、(6) 関係節の主語になれるか、の6つのテストを行いました。比較する構文は、連体修飾節の内の関係(a)と外の関係(b)、「～するとき」の「とき」という名詞が含まれている時間を表す副詞節(c)、それから普通名詞(d)、形式名詞1(e)、形式名詞2(f)はそれぞれ人魚構文のタイプです。非常に数が多くて、これを一緒にしてしまうと結果が違ってくるので、細かく分けました。最後に普通の動詞文(g)と名詞文(h)を比較してみました。

結果を見てみますと、(1)～(3)のテストにおいては、人魚構文の(d)(e)(f)は(c)時間副詞節と同じ結果になります。まず、(1)の指示詞との共起可能性において、人魚構文の場合、「友達は日本に行くその予定だ。」の「予定」は、指示詞「その」の修飾を受けることができません。一方で、(h)名詞文の場合は、「私の友達はこの医者だ。」のように、指示詞と共起可能です。次に、(2)の形容詞による修飾可能性に関しては、人魚構文の場合、「友達が日本に行く急な予定だ。」のように、形容詞「急な」の修飾を受けることはできません。

次に、「が」「の」交替があります。日本語では、例えば「私が行く道」の「が」を「の」に置き換えることができます。韓国語はこの現象が、ある例文に限ってはできるのですが、日本語ほど生産的にはこの交替が起こりません。その結果、連体修飾節ではばらつきがあり、できる場合もあれば、できない場合もあります。一方で、ほ

(6) 나는 나를 도와준 사람들에게 꼭 보답할터/터이다.
 Na=nun na=lul towacu-n salam-tul=eykey kkok potapha-l
 私=は 私=を 手伝ってくれる-連体形 人-複数=に 必ず 返す-連体形
 the/ the=i-ta.
 土/土=コンピュータ-終結語尾
 「私は私を手伝ってくださった方々に必ず恩返しするつもり/つもりだ。」

(7) 회의에 참석할 것.
 Hoyuy=ey chamsekha-l kes.
 会議=に 参席する-連体形 こと
 「会議に参席すること。」

(8) 나는 오후에 회의에 참석할 것이다.
 Na=nun ohwu=ey hoyuy=ey chamsekha-l kes=i-ta.
 私=は 午後=に 会議=に 参席する-連体形 こと=コンピュータ-終結語尾
 「私は午後、会議に参加する(つもりだ)。」

例文(6)-(8)

かの構文では全てできません。

四つ目の主題化は、「は」が使えるかどうかということ。ここからは先ほどの結果とは少し異なってきます。先ほどは(c)と似ている場合が多かったですが、今度は普通の動詞文と名詞文と似たような結果になります。

次は分裂文、強調構文です。「～なのは～だ」というように強調するものを入れたものです。この結果は少し複雑です。まず人魚構文の(e)と(f)の場合は時間副詞節(c)と同じ結果です。できる場合もあれば、できない場合もあります。一方で(d)の普通名詞の場合は、(g)と(f)、普通の名詞文、動詞文と同じ結果になりました。

最後に関係節の主語になれるかどうかですが、ここはほかの構文では可能ですが、(e)と(f)の形式名詞の場合は、できる場合とできない場合があります。

結果をまとめてみますと、このようになります(表6参照)。1～3までは時間副詞節(c)と似た結果です。一方で、4～6を見てみますと、一見(g)と(f)に似ているように見えますが、まだ少しばらつきがありますので、今の段階では、韓国語の人魚構文は連体修飾節(a)と(b)とは違う構文であるということが

一つ言えるかと思います。

◆まとめ

まとめです。韓国語において、体言(名詞)の位置に表れる名詞は、日本語のほとんどの名詞と対応しますが、一部制約が見られます。前半部の連体節の中の用言の連体形と、その後に来る名詞との共起関係に制約が見られるということです。コンピュータの有無によって韓国語はそれほど意味的な違いはありませんが、日本語では、より聞き手目当ての意味として文法化が起こります。両言語ともに特殊で、独自の構文として扱うべきということが言えるのではないかと思います。少し駆け足となりました。ご清聴ありがとうございました。

比較する構文 (8つの構文)

	(a)	(b)	MMC				(g)	(h)
			(c)	(d)	(e)	(f)		
1. 指示詞による修飾可能性	+	+	-	-	-	-	N/A	+
2. 形容詞による修飾可能性	+	+	-	-	-	-	N/A	+
3. 「[ㄷ]/[가(が)]」/[ㄹ] (の)」の交替	+/-	+/-	-	-	-	-	-	-
4. 主題化	-	-	+/-	+	+	+	+	+
5. 分裂	-	-	+/-	+	+/-	+/-	+	+
6. 関係節の主語になれるか	+	+	+	+	+/-	+/-	+	+

表6 調査結果のまとめ